

第16回 環境やまがた大賞

～大賞候補者募集のお知らせ
(推薦のお願い)～



【自然と生命の完全循環】

山形県では、持続的な発展が可能な豊かで美しい山形県の構築を目指し、県民、事業者及び行政が相互に協力しあい、環境の保全及び創造に関する取組みを進めるため、平成11年に「山形県環境基本条例」を制定しました。

その目標実現に向けて、環境への負荷の少ない持続可能な社会づくりに自主的・主体的に取り組む活動の促進と県民意識の醸成を図ることを目的として、地球環境や地域環境に関する活動において、特に顕著な功績のあった個人又は団体(グループ、NPO、学校など)を顕彰する「環境やまがた大賞」事業を、同年から実施しています。

このたび、下記募集要項により、第16回「環境やまがた大賞」の大賞候補者を募集しますので、皆様の積極的な御応募(御推薦)をお願いいたします。

【第16回「環境やまがた大賞」候補者募集要項】

◎応募(推薦)対象者

- 県内に居住する個人又は県内に主たる活動の拠点を有する団体(企業は除く)が対象です。
→企業を対象とした別の表彰制度があります。
次ページの「よくある質問」Q1を参照ください。
- 個人の場合には他薦に限り、団体の場合には自薦・他薦を問いません。

◎応募(推薦)方法

- 応募は、別紙「環境やまがた大賞」推薦調書の提出によります。
推薦調書の様式は、山形県ホームページからもダウンロードできます。
- 推薦調書に必要な事項を御記入の上、必要資料を添えて、次ページ掲載の総合支庁環境課まで郵送、電子メール又は持参により御提出ください。

◎募集期間

平成27年7月6日(月)～8月6日(木) 必着

◎応募(推薦)基準

- 地球環境又は地域環境の保全と創造に関する普及啓発、実践活動を行い、大きな成果が認められるものであること。
- 他の模範となり、推奨できるものであること。
- 対象活動を行った期間が、個人にあつては原則5年以上、団体にあつては原則3年以上であること。(ただし、小中高生などの子どもが中心に活動を行う団体については、これより短い活動期間でも推薦いただくことは可能です。)
- 同一の功績により、大臣表彰又は知事表彰を受けていないこと。(ただし、小中高生などの子どもが中心に活動を行う団体については、直近の表彰から5年を経過している場合は、推薦できます。)
→次ページの「よくある質問」Q5を参照ください。

第15回 受賞者



**第15回
環境
やまがた
大賞**

高木イバラトミヨ保存会(天童市)

**天童市高木地区内の河川に生息する
イバラトミヨの保護活動と地域活性化**

天童市高木地区のひょうたん池とその下流にある高木川流域はイバラトミヨ生息地として県の天然記念物に指定されています。高木イバラトミヨ保存会は、生息地の定期的な清掃活動や水位測定等の活動を通じて、イバラトミヨの保護に取り組んでいます。また、小中学生を対象にした夏季学習会を開催するなど、子どもたちへの環境教育の取組みも行っています。

**第15回
環境
やまがた
大賞**

村山市立葉山中学校(村山市)

**学区内の小学校や地域住民と連携した
環境・省エネ活動**

葉山中学校の「葉」=「グリーン」を連想することから、学校・PTA・生徒会が一体となって環境保全活動に取り組んでいます。特に「葉山中学区グリーンカーテン化計画」では葉山中学校を中心として、学区内の4小学校や地域とも連携するなど、地域の環境リーダーとして幅広い活動を展開しています。



第10回以前の受賞者等の情報は、山形県ホームページを御覧ください。
<http://www.pref.yamagata.jp/>

環境やまがた大賞

検索

◎受賞者の決定

外部有識者を含む「環境やまがた大賞選考委員会」による選考を経て、決定します。
 なお、必要に応じ、県の担当職員が電話での問い合わせや実地訪問を行う場合がありますので、御協力をお願いいたします。

◎授賞時期

平成27年10月下旬予定

◎受賞者のPR

受賞された方々とその活動について、山形県ホームページやマスコミ等を通じて御紹介（PR）させていただきます。

●「環境やまがた大賞」ホームページ

山形県ホームページ (<http://www.pref.yamagata.jp/>) で、「環境やまがた大賞」と入力し、サイト内検索してください。



●「環境やまがた大賞」に関するお問い合わせ先

山形県環境エネルギー部環境企画課 企画調整担当 中村
 電話：023-630-3043 電子メール：ykanki@pref.yamagata.jp

●「環境やまがた大賞」推薦調書の御提出先

応募（推薦）対象者の住所（所在）地を管轄する総合支庁に御提出ください。
 村山総合支庁保健福祉環境部環境課 〒990-2492 山形市鉄砲町2-19-68
 電話：023-621-8425 電子メール：ymurayamakankyo@pref.yamagata.jp
 最上総合支庁保健福祉環境部環境課 〒996-0002 新庄市金沢字大道上2034
 電話：0233-29-1285 電子メール：ymogamikankyo@pref.yamagata.jp
 置賜総合支庁保健福祉環境部環境課 〒992-0012 米沢市金池7-1-50
 電話：0238-26-6102 電子メール：yokitamakankyo@pref.yamagata.jp
 庄内総合支庁保健福祉環境部環境課 〒997-1392 東田川郡三川町大字横山字袖東19-1
 電話：0235-66-4744 電子メール：yshonaikankyo@pref.yamagata.jp

【よくあるご質問】

Q1 企業は「環境やまがた大賞」の対象となっていないが、企業の顕彰はしないのか。

A 別に企業を対象とした、山形県環境保全協議会が実施する「山形県環境保全推進賞」制度があり、大賞には「山形県知事賞」が授与されます。
 （参考）山形県環境保全協議会ホームページ <http://www.eny.jp/hozenkyo/>

Q2 学校は、学校全体の活動でなければ応募できないのか。

A 児童・生徒のクラブ活動や部活動の単位でも応募可能です。

Q3 市町村が応募・推薦できるのか。

A 市町村が管内の個人・団体を推薦いただくことはもちろんのこと、自ら応募いただくことも可能です。第2回には、立川町（現庄内町）が受賞されています。また、これまで、市町村から数多くの御推薦をいただいております。
 市町村におかれましては、積極的な御応募・御推薦をお願いいたします。

Q4 何年か前に応募したが、受賞には至らなかった。再度、応募してよいのか。

A 前回は応募時からさらに活動が発展・充実している場合又は別の取組みを行っている場合は、応募可能です。

Q5 過去に大臣表彰や知事表彰（環境やまがた大賞を含む）を受けたことがあると、応募できないのか。

A 直近の受賞時と比較し、活動の発展がみられる場合（同一の功績ではない部分がある場合）は、応募可能です。推薦調書に前回受賞から発展した点について記入してください。
 評価の対象となる活動期間は、直近の受賞時から平成27年3月末日までとなります。
 また、小中高生など子どもが中心に活動を行う団体については、直近の受賞時から5年以上経過した場合は、同等の活動であっても、別の子どもの取組みとして応募可能です（選考過程では継続性も評価します。）。

【対象となる活動内容の事例】

◆地球温暖化を防止する低炭素社会の構築

- ノーマイカーデー、エコドライブの実施など二酸化炭素排出削減に向けた活動
- 学校や地域をあげた省エネルギー実践活動
- 森づくり等への参加、植林や森林保護などの活動



◆安全で良好な生活環境の確保

- 低公害車の導入、バイオディーゼル燃料普及などの大気環境の保全活動
- 河川の水質悪化を防ぐ取組みなどの水環境の保全活動
- 化学肥料・農薬の使用の低減などの環境保全型農業の実施

◆再生可能エネルギー等の導入による地域の活性化

- 風力、太陽光、太陽熱、バイオマスなどの環境負荷の少ないエネルギーの積極的利用

◆ごみゼロやまがた実現に向けた循環型社会の構築

- 過剰包装の自粛やマイバックの持参、環境に配慮した製品の購入などのグリーン購入によるごみ減量化活動
- リターナブル容器の利用などのリユース、生ごみ堆肥化などのリサイクル活動
- 「もったいない」をキーワードにした普及啓発、3R推進活動



◆環境教育を通じた環境の人づくり

- 環境保全団体の活動支援・指導、団体間の交流・ネットワークづくり支援活動
- 環境保全等に関する研修会、自然体験学習等の環境学習機会の提供
- 社会体験活動など地域の理解や地域づくりに関連づけた環境教育活動



【過去5回の受賞者】

【米沢生物愛好会（米沢市）】

長年にわたる自然調査活動を通じた自然保護意識の啓発と取組みの推進



【山形県立東根工業高等学校】

ものづくり委員会（東根市）

生徒による手作り太陽光発電パネルの製作、地域から海外までに及ぶ普及活動

【工藤 時雄（庄内町）】

県内各地でホタル幼虫放流会を実施し環境教育を支援

【千門町蛸の会（新庄市）】

地域で連携した指首野川の環境整備と子どもたちの環境学習支援

【山形県立米沢工業高等学校（米沢市）】

生徒手作りの電気自動車や自然エネルギーで走らせる



【楯山愛好会（村山市）】

国蝶オオムラサキが飛び交う里山を目指した保全活動

【羽黒の森を守る会（白鷹町）】

羽黒神社の歴史ある松並木を守るため、地域一体となった保全と伝承活動

【鈴木康之・遊佐町西遊佐小学校（遊佐町）】

長年にわたり協働しての西通川での体験活動を通じた総合学習の取組み



【手ノ子地区協議会里づくり推進委員会雁沢部会（飯豊町）】

雁沢川の環境保全活動と「ホタルの里づくり」

【大山公園再生協議会（鶴岡市）】

地域住民の手で広大な大山公園の景観を再生

【笹川土地改良区（鶴岡市）】

自然を守り未来に繋ぐ「笹川」をテーマとした環境教育

